



学校だより

芽吹 き

NO.129

令和2年10月30日発行
中野区立南中野中学校

教育目標

- 1 自ら学び、考え、実践できる人になろう (賢く)
- 2 思いやりのある、心豊かな人になろう (優しく)
- 3 心身ともに、たくましい人になろう (逞しく)

アマビエチャレンジ

校長 池田 浩二

2学期制の中野区では、10月12日に後期の始業式があり、令和2年度の後半がスタートしました。コロナウイルスに翻弄されている学校生活ですが、今年度も残り半年ということになり、南中野中でも3年生から2年生へのバトンタッチが着々と進み、世代交代が進められています。生徒会活動も10月からは2年生を中心とした活動が始まりましたが、前期生徒会最後の取り組みとして、9月末から医療従事者の方々へ感謝プロジェクト「アマビエチャレンジ」と募金を実施しました。前期生徒会役員が各クラスを回り、募金とアマビエのイラストに色を塗り、新型コロナウイルスが一日も早く収束に向かうように願いを込めるとともに医療従事者の方を始め多くの人たちへの感謝の気持ちを込めるプロジェクトの呼びかけをしました。



今回のコロナ禍で一躍注目を浴びたアマビエですが、改めて調べてみると、人々に未来を告げる「予言獣」という妖怪なのだそうです。今回これだけ有名になったアマビエですが、資料として残っているのは京都大学付属図書館に残っている江戸時代の瓦版が1枚だけで、その瓦版には「弘化3年、肥後国（熊本県）の海中に光るものが毎夜出現するので役人が見に行くと『私は海の中に住むアマビエというものだ。当年より6年諸国豊作が続くが、併せて疫病も流行する。早々に私の姿を写し、人々に見せよ』と告げ海中に消えた」という内容の文章が、アマビエの絵とともに書かれています。この絵が当時の江戸の町に伝わり疫病除けの御利益があるとして多くの人々に広まり現在に至っているようです。

完成した「アマビエチャレンジ」の作品は、写真のような大作に仕上がりましたが、募金総額も19556円になりました。新型コロナという未知のウイルスとの戦いが続く今、生徒たちからそんな思いが生まれ、活動ができたことを本当にうれしく思っています。作品は校内にも展示しましたが、地域でも展示して医療従事者の方を始め、お世話になっている地域みなさんに「いつもありがとうございます」の気持ちを伝えたいと展示していただける場所を探しています。

文化発表会 「百歌繚乱 ～ 心は No Distance ～」

10月16日（金）、本校体育館で文化発表会が行われました。午前中の合唱コンクールは発表学年のみ、午後の発表は3年生のみが体育館で鑑賞し、その他の学年は教室にて、配信された映像を視聴するという方法で、密を避け、感染予防に努めながらの開催となりました。また、配信については、リアルタイムで保護者も視聴できるように工夫をしていきました。

練習から本番まで、例年とは違う取組となりましたが、短い期間の中で、生徒自身がよりよい活動の方法を考えながら懸命に練習に励み、本番の舞台を迎えました。練習では密集を避けるため、複数の教室を使った練習や校庭での練習を行い、全員で合唱するのではなく、パート別に歌唱し、それに対するアドバイスをするといった練習方法も採用され、各学級が合唱レベルを上げていきました。また、換気の時間を十分にとり、練習終了時には手指消毒を行うなどの対策をとりました。本番の合唱は緊張感の中にも豊かな思いのつまったものとなり、それぞれの学級の集大成となる合唱になりました。体育館での発表だったので、今年度の実行委員は司会進行に加えて照明操作等も行いました。パソコン部の映像も合わさり、一つのステージを生徒たち自身の手で作ることができたのは、今年度の文化発表会のレガシーと言えます。裏方の頑張りも光る文化発表会でした。



合唱コンクール

今年度は例年と異なり練習日程も短かかったものの、一人一人が「どのように歌ったらよいか」など工夫を話し合い、自分達で音楽を造り上げていく姿勢が日に日に強まり、本番の達成感を感じることができた様子でした。



1年生は初めての合唱コンクール通し、団結力や日々の練習の大切さを学び、2年生は「自分たちで音楽を造り上げる喜び」を体験しました。そして最高学年の3年生は「最後の合唱コンクール」であること、「下級生に自分たちの伝統を引き継ぐこと」などを目標に取り組み、悔いの無い演奏を発表することが出来ました。生徒からは「他の学校ではできなかったであろう合唱コンクールができて嬉しい！」「マスクやマウスシールドのせいでうまく声が出なかったが、楽しんで歌を伝えることができた。みんなのおかげで、満足している。」との声がありました。

吹奏楽部発表

吹奏楽部では計6曲「キボウノカゼ、ムーンライトセレナーデ、宿命、Paradise Has No Border、ピースサイン、オーメンズ・オブ・ラブ（アンコール曲）」を演奏しました。この日の為に夏休みも練習を重ね準備をし、3年生は今回の演奏で仮引退ということもあり、一音一音に思いを込め演奏をしました。途中鑑賞をしている3年生から手拍子も出たりと、会場が一体となって音楽を楽しむ様子が見られました。



演劇部発表 劇「ELECTRO-VIRUS」

今年度の劇は、休校中に3年生が原案を立ち上げ、6月以降に部活内で話し合いを重ねてプロットを作成したものを顧問が脚本化したものです。今の制限された生活の中、「ウイルス」と「スマホ依存」をモチーフに構想を練りました。部員8名、ボランティア生徒7名が、限られた練習時間の中で、例年になく立ち位置や距離感、そして曲に合わせた動きなどを工夫して劇づくりに励みました。セリフのあるなしに関わらず、誰一人欠けても成立しない舞台。今後も手直しをし、よりよい芝居作りを進めます。



2学年総合発表

2学年総合の進路学習「働くとは」のテーマで発表しました。限られた期間の中で、各学級で発表された仲間の意見を交え、いかに自分たちの考えを分かりやすく表現できるか試行錯誤を重ねました。原稿の書き方、スライドの見せ方、話す速さや大きさ等、練習を重ねるごとに洗練されていき、本番では堂々とした姿で、2学年代表にふさわしい発表となりました。



○生徒 ◎保護者の声

- 吹奏楽部の演奏は音楽の世界に引き込まれた。迫力があり演奏している方も楽しそうな姿が伝わってきて、私も楽しく元気な気持ちになった。
- 演劇部の発表は劇場で観ているようで、一人ひとりのキャラがとても個性的で面白かった。
- 2年生の発表で『人のため』『自分のため』に働くのだと気づかされ、自分はどうしたいのか考えさせられた。
- ◎コロナ禍にありながら、文化発表会を開催してくださり、子どもたちも3年間の集大成を発表できたこと、本当によかったと思います。
- ◎先生方が無事に開催できるよう感染対策にご配慮いただいていたことを知り、ライブ配信も見られて、とてもありがたく感じました。
- ◎運動会に続き、このような配信をしてくださったことに感謝です。

表彰・部活動の記録

バレーボール部

中野区中学校バレーボール
新人大会 3位

バドミントン部

中野区中学校バドミントン
新人大会男子シングルス
3位 2年男子

吹奏楽部

南中野地区まつり
みんなで楽しむコンサート出演
文化発表会での演奏発表

演劇部

文化発表会にて
「ELECTRO VIRUS」発表

南中野地区まつり『作品展』出品

南中野地区祭りの一環として、南中野区民活動センター2階廊下の壁面に、南中野中学校の生徒の作品が22点、出品されました。9月25日(水)～10月5日(月)の期間で展示される予定でしたが、好評のために12日(月)まで期間を延長したとのことでした。



心 …心の教室相談員勤務日
SC …スクールカウンセラー勤務日
ICT… ICT 学習支援員勤務日

11月の行事予定

日	曜	内 容	
1	日		
2	月	全校朝礼	心
3	火	文化の日	
4	水	三者面談終 安全指導 色覚検査終(1年)	
5	木		ICT SC
6	金		心
7	土		
8	日		
9	月	避難訓練	心
10	火		ICT 心
11	水	中教研領域研究日	
12	木		SC
13	金	専門委員会	心
14	土	授業日 進路説明会 学校説明会	
15	日		
16	月	生徒会朝礼	ICT 心
17	火	後期中間考査(全学年)	心
18	水	後期中間考査(全学年)	
19	木	後期中間考査(3年)	SC
20	金		心
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火		ICT 心
25	水	職員会議	
26	木		SC
27	金		心
28	土	授業日	
29	日		
30	月	学年朝礼	心